

帰山議員

新体育館建設について

問 体育館の建設目的、予定地、規模の設定理由及び既存施設の取り扱い、建設予算に伴う財政見込みを問う。

答 新体育館の建設は市民の長年の夢であり、これからの世代である子ども達や若者にとって大きな希望の実現である。スポーツ振興はもとより市民の健康増進、交流人口の増大による活力の増加と経済効果により、勝山市の活性化に大きく寄与すると確信している。

建設候補地は利便性の高い市街地で、整備に必要な敷地面積を確保できる場所を前提条件とし、昭和町2丁目の用地を選定した。

新体育館は2階建てを想定している。アリーナについては、平成30年福井国体をはじめ全国大会など大きなスポーツ競技会の開催に対応できる規模・機能を備え、各種イベントにも利用できるスペースとしたい。また、トレーニング室、多目的室、ランニングコース等を設置すると共に2階の観覧席は1000席程度を設ける予定。さらに、防災設備、空調設備、バリアフリー化等にも配慮していきたい。

その他の質問

・観光振興施策について
・河川災害について
・住民基本台帳ネットワークシステムについて

利活用を図るためには既存周辺施設との連携方策が必要と考える。国体開催時には市営体育館をサブ体育館として活用する必要があり、また新体育館建設後における既存体育館のあり方を総合的に検討する必要もある。その中で今後必要な改修等を検討していく必要があると考えている。

今回示した新体育館建設事業費は勝山市としては大型事業であるが、建設年度及び後年度の市債償還においても決して大きな負担となることはないと考えている。



丸山議員

第20回環境自治体会議について

問 ①開催誘致の見解を伺う。

②勝山駅からサンプラザまでの元緑線に恐竜オブジエを多く置いて恐竜通りと銘打つことを提案する。

③鮎釣り客やグラウンドゴルフを楽しむ人達のトイレ対策を伺う。

答 ①工口環境都市を目指す取り組みを見ていただくと共に、全国の自治体等の先進的な環境関連活動に市民や職員が触発されることにより、勝山市の環境施策のさらなる推進と市民意識の向上を図ることができると考え、誘致を決定した。
②環境自治体会議のときだけでなく恒常的な元緑線の振興策として検討を行う。
③九頭竜川左岸の昇降路の下流側にトイレを設置することにし、年度内供用を目指している。

流雪溝整備並びに消雪設備について

問 ①本町通りの舗装や流雪溝整備が上から下まで一貫していない。不公平感の解消に努めるべき。

その他の質問

・まちなみ景観創出事業について

②勝山旧町内には狭い路地が多い。例えば上後区の下寺から西環状線までの通りは、大雪の年に消火作業に支障をきたすのではないかと高齢者は危惧し、早期の消雪設備の設置を願っている。理事者の対応について伺う。

答 ①まちなか整備推進会議のワークショップで冬場の雪対策を優先すべきとの意見が多くあり、計画を組みかえて消雪路線の工事区間を延長することにした。
②雪に対する課題は山積しており、課題解決のために平成23年度と24年度の2カ年で(仮称)「勝山市総合克雪・利雪・親雪計画」の策定を行う予定。

